

中野区議会報告レポート

中野区議会自由民主党議員

佐野れいじ

発行：平成26年4月

平成26年度一般会計予算は1206億8700万円前年度比33億4600万円増（3.1%増）となりました。新年度予算案などを審議する中野区議会第1回定例会で2月21日、私は一般質問に立ち、中野区の見解を質しました。

質問は多岐にわたりましたが、その要点を取りまとめて皆さまにお知らせします。

（1）中野区の空き家対策について

現在、中野区では放置された空き家が83戸あります。（全国では約757万戸）。

空き家対策は防災・衛生・景観・倒壊・犯罪等の面からも緊急を要します。私は昨年①の第3回定例会総括質疑においても

この問題を取り上げました。当時、臨時国会で「空き家対策の推進に関する特別処置法」が議員立法で提出を予定されていたこともあり、区への対応としてはその動向を見守るとのことでしたが、提出が断念され、今国会でも提出できるよう調整中です。

こうした事情を背景に私は①昨年の総括質疑で写真パネルで示した現場や、本町5丁目の樹木に覆われた空き家のその後の状況について。②国の法令化が遅れる場合、中野区としても、他の自治体のように、区独自の罰則を含んだ条例制定も視野に入れて取り組むべきだと思うがどうか、などを尋ねました。

これに対し区は①の写真パネルのケースでは、相続人を追跡した結果、最終相続人にたどり着き、詳細に状況説明をしたところ、適正な維持管理が行われるようになった。また、本町5丁目の事例では、所有者に積極的な働きかけをした結果、本年1月に樹木の剪定等が実施された。②については、法令や条例の有無に拘わらず、区民からの問い合わせや相談には誠意をもって対応して行く。中野区独自の取組みも検討して行く、とのことでした。

（2）中野区の人口統計活用について

少子高齢化が進む中、私は人口動態による諸問題の分析は非常に重要かつ大切であると常々思っています。そこで①中野区では人口統計数値をどのように区政に活かしているのか。②合計特殊出生率が東京都、区部、全国平均に比べて大変低い、その理由と今後どのようにして向上させていく

